



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 トレーディア株式会社

コード番号 9365 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古郡 勝英

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長

(氏名) 山口 勝

TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,997	△3.5	△56	—	△24	—	24	△56.0
28年3月期第3四半期	10,363	△3.2	24	△71.1	39	△61.7	56	△13.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 108百万円 (490.3%) 28年3月期第3四半期 18百万円 (△91.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	1.68	—
28年3月期第3四半期	3.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,434		2,381		25.2	
28年3月期	9,369		2,346		25.0	

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,381百万円 28年3月期 2,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,510	△1.4	60	120.6	90	25.2	50	△27.0	3.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	14,700,000 株	28年3月期	14,700,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	45,820 株	28年3月期	44,950 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	14,654,930 株	28年3月期3Q	14,656,650 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の伸び悩みに加え、英国のEU離脱問題や米国大統領選後の為替相場や株式市場の不安定化、中国やアジア新興国の景気減速等、海外経済の不確実性の高まりを背景に、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応するとともに、積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期間比1.3%増加しましたが、売上高は99億97百万円余(対前年同期間3億65百万円余減)となりました。損益面につきましては、売上高が減少したことにより、営業総利益は前年同期間比13.0%減少し6億86百万円余(対前年同期間1億2百万円余減)となりました。営業損失は56百万円余(前年同期間は営業利益24百万円余)、経常損失24百万円余(前年同期間は経常利益39百万円余)の計上となりました。特別損益では、投資有価証券売却益を53百万円余計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間比56.0%減少し24百万円余(対前年同期間31百万円余減)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### ①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨および機械機器製品が減少したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比8.3%減少し22億57百万円余、セグメント損失は82百万円余(前年同期間はセグメント損失81百万円余)の計上となりました。

#### ②輸入部門

輸入部門におきましては、雑貨が減少したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比1.1%減少し38億87百万円余、セグメント損失は18百万円余(前年同期間はセグメント利益6百万円余)の計上となりました。

#### ③国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は、欧州向けの繊維関係および北米向けの機械、建機等は低迷しましたが、東南アジア、台湾向けの建材で売上を伸ばしたことにより、国際輸出部門の売上高は前年同期間比3.8%増加し10億32百万円余の計上となりました。国際輸入は、ベトナムからの衣料、雑貨品の取扱いを伸ばしましたが、主力の中国からの原料、家電製品の低迷に加え、北米、東南アジアからの原料、雑貨品が落ち込んだことにより、国際輸入部門の売上高は前年同期間比5.4%減少し26億92百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比3.0%減少し37億25百万円余、セグメント損失は2百万円余(前年同期間はセグメント利益48百万円余)の計上となりました。

#### ④その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比7.3%減少し1億82百万円余、セグメント利益は47百万円余(前年同期間はセグメント利益50百万円余)の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入55百万円余を含んでおります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円余増加し、94億34百万円余となりました。流動資産は1億9百万円余増の34億51百万円余、固定資産は44百万円余減の59億82百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、立替金の減少がありますが、売掛金の増加等によるものであります。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の増加がありますが、減価償却費計上による減少等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円余減少し、43億71百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、1億32百万円余増加し、26億80百万円余となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金の減少等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、35百万円余増加し、23億81百万円余となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年11月10日公表の平成29年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	677,032	819,160
受取手形及び売掛金	1,514,695	1,672,158
繰延税金資産	68,794	70,931
立替金	809,237	788,480
その他	275,517	107,722
貸倒引当金	△3,471	△7,009
流動資産合計	3,341,806	3,451,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,523,853	1,447,183
機械装置及び運搬具(純額)	48,121	45,806
工具、器具及び備品(純額)	6,233	5,009
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産(純額)	135,830	107,525
有形固定資産合計	3,495,696	3,387,181
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	228,637	175,822
無形固定資産合計	263,197	210,382
投資その他の資産		
投資有価証券	1,040,014	1,148,351
差入保証金	787,386	787,055
その他	449,795	458,660
貸倒引当金	△8,653	△8,653
投資その他の資産合計	2,268,543	2,385,414
固定資産合計	6,027,436	5,982,978
資産合計	9,369,243	9,434,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,341,641	1,342,703
短期借入金	2,630,228	2,519,230
リース債務	45,117	41,281
未払法人税等	7,898	19,221
賞与引当金	167,090	71,610
その他	283,074	377,771
流動負債合計	4,475,050	4,371,819
固定負債		
長期借入金	1,967,326	2,178,108
リース債務	102,170	75,615
長期末払金	126,653	83,851
繰延税金負債	66,097	103,386
役員退職慰労引当金	66,417	72,401
退職給付に係る負債	219,379	167,573
固定負債合計	2,548,044	2,680,936
負債合計	7,023,094	7,052,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,357,501	1,308,820
自己株式	△9,688	△9,828
株主資本合計	2,253,239	2,204,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,020	209,924
退職給付に係る調整累計額	△57,111	△32,675
その他の包括利益累計額合計	92,908	177,249
純資産合計	2,346,148	2,381,668
負債純資産合計	9,369,243	9,434,423

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業収入	10,363,451	9,997,680
営業費用	9,574,352	9,311,181
営業総利益	789,098	686,499
一般管理費	764,281	742,534
営業利益又は営業損失(△)	24,817	△56,034
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,071	30,225
持分法による投資利益	16,862	30,925
その他	48,243	49,688
営業外収益合計	89,176	110,839
営業外費用		
支払利息	64,690	61,208
その他	9,385	18,523
営業外費用合計	74,076	79,732
経常利益又は経常損失(△)	39,918	△24,927
特別利益		
固定資産処分益	349	129
投資有価証券売却益	-	53,520
出資金売却益	64,956	-
特別利益合計	65,306	53,650
特別損失		
固定資産除売却損	4,236	0
関係会社清算損	9,772	-
原状回復費	8,280	-
特別損失合計	22,289	0
税金等調整前四半期純利益	82,935	28,723
法人税等	26,902	4,068
四半期純利益	56,033	24,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,033	24,654



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	56,033	24,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,453	59,903
退職給付に係る調整額	5,885	24,436
その他の包括利益合計	△37,567	84,340
四半期包括利益	18,465	108,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,465	108,995
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,460,813	3,930,531	3,841,589	10,232,934	130,517	10,363,451	—	10,363,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	66,634	66,634	△66,634	—
計	2,460,813	3,930,531	3,841,589	10,232,934	197,152	10,430,086	△66,634	10,363,451
セグメント利益又は損失(△)	△81,085	6,748	48,965	△25,370	50,188	24,817	—	24,817

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

2. 調整額△66,634千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,257,742	3,887,187	3,725,589	9,870,519	127,161	9,997,680	—	9,997,680
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	55,521	55,521	△55,521	—
計	2,257,742	3,887,187	3,725,589	9,870,519	182,682	10,053,202	△55,521	9,997,680
セグメント利益又は損失(△)	△82,749	△18,684	△2,510	△103,944	47,909	△56,034	—	△56,034

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

2. 調整額△55,521千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。